

平成 18 年度 地理情報システム学会総会議事録

日時 : 平成 18 年 4 月 22 日(土) 17:15 ~ 18:00

場所 : 東京大学本郷キャンパス・工学部 14 号館 141 番教室

議長 : 事務局長 福井弘道

【開会の宣言】

議長より開会が宣言された。

【報告】

1 . 平成 17 年度会計報告

議長より、平成 17 年度の会計報告がなされた。 承認

2 . 平成 17 年度監査報告

柴崎会計監査委員会委員長より、平成 17 年度の監査報告がなされた。 承認

3 . 平成 17 年度事業報告

議長より、平成 17 年度の事業報告がなされた。 承認

【議題】

4 . 平成 18-19 年度の会長・副会長・会計監査候補について

議長より、平成 18-19 年度の会長・副会長・会計監査候補が紹介された。 承認

5 . 平成 18 年度予算について

議長より、平成 18 年度の予算（案）について説明がなされた。 承認

6 . 平成 18 年度事業計画について

議長より、平成 18 年度事業計画について説明がなされた。 承認

7 . 平成 18 年度 GISA 研究発表大会について

高阪理事より、平成 18 年度研究発表大会について説明がなされた。 承認

8 . 会則改正について

議長より、会則改正について説明がなされた。 承認

【閉会の挨拶】

村山新会長より、今期の地理情報システム学会の目標として、以下の 3 項目が示された。

GIS 技術資格主催者認定。この資格認定を軌道に乗せ、他学会との連携を取ることにより、社会的インパクトが生じると良い。

国際交流促進。これまでの欧米主体の GIS 輸入だけでなく、アジアとの交流が重要になって来る。そのためにも GISA の発信機能の強化が必要である。

研究活動の活発化。そのためには分科会である SIG の活性化や、惑星連合大会への参加の強化が必要である。大会も従来は研究発表が中心だったが、その他にワークショップやポスターセッションなども活発化させ、盛り沢山なものにして行きたい。

上記の目標を達成する為には、体力の強化、ひいては会員数の増加を図ることが不可欠である。賛助会員の獲得も重要であるが、個人会員、特に、2 年後 3 年後に社会に出て GISA を支える存在となる、学生会員の獲得に力を入れたい。

【閉会の宣言】

議長より閉会が宣言された。

以上